

国立西洋美術館 内藤コレクション

西洋の写本—いとも優雅なる中世の小宇宙

2024年9月7日(土) - 9月29日(日)

札幌芸術の森美術館

中世ヨーロッパでは、動物の皮でできた紙に文字を書き写して書物(写本)を作りました。その制作は分業で行われ、写字生が定型の書体で文字を書き写したのち、彩飾者がページの余白や文頭の一文字を華やかに装飾します。修道院や教会にとって写本の制作と管理は重要な勤めであり、長い時間をかけて完成した写本は宝物として受け継がれ、人々の信仰を支えるとともに、知を後世へと伝える重要な媒体となりました。

本展では国立西洋美術館所蔵の内藤コレクションの中から、聖書や時祷書、聖歌集などの約140点を展示します。その大半は13~16世紀のもので、本から切り離された1ページ(リーフ)として後世に伝わりました。個々の作品には絵解きパネルを添え、写本の世界をより深く楽しく知っていただけるよう工夫を凝らしています。貴重な写本が一堂に会するまたとない機会ですのでぜひご覧ください。

展覧会の見どころ

- 1 国内美術館最大級の写本コレクションから約140点を展示
- 2 文字と絵が一体となった彩飾芸術の美を堪能
- 3 絵解きパネルを見ながら楽しく鑑賞!

絵解き
司祭長に献じられた写本の1ページに注目!

文字の中に絵!?

キリスト誕生の知らせを受け、星に導かれてやってきた3人の占星術師

文頭の文字は装飾されるが多く、ここでは「A」の内部に聖書の物語が描かれている。

聖母マリア
幼児キリスト

人物が装飾の一部に

この写本を献じられた司祭長

よく見てみると…

人と鳥が合体した謎の生き物…?

ベラルド・ダ・テーラモ(彩飾)(聖務日課聖歌集(寄葉)イタリア、アブルツァ地方 1340-50年頃 彩色、インク、金/獣皮紙 国立西洋美術館 内藤コレクション)

1 フランチェスコ・ダ・コディゴロ(写字)、ジョルジョ・ダレマーニャ(彩飾)『レオネッロ・デステの聖務日課書』寄葉)イタリア、フェララ 1441~43年 彩色、インク、金/獣皮紙 2 ジョヴァンニ・ディ・アントニオ・ダ・ボローニャ(彩飾)《典礼用詩編集寄葉》イタリア、ボローニャ 1425~50年 彩色、インク、金/獣皮紙 3 《祈祷書寄葉》ドイツ南部、アウグスブルクもしくはニュルンベルク(?) 1524年頃 彩色、インク、金、銀/獣皮紙 *すべて国立西洋美術館 内藤コレクション



時間: 午前9時45分 - 午後5時 (入館は閉館の30分前まで) 会期中無休

観覧料: 一般 1,400(1,100)円、高校・大学生 800(600)円、小・中学生 400(300)円

* ()内は前売または20名以上の団体料金 * 小学生未満無料

* 65歳以上の方は1,200(団体1,000)円 年齢の分かるものをご提示ください。

* 障がい者手帳をお持ちの方は、当日窓口でご提示いただくと、ご本人と付き添いの方1名が無料になります。

主催: 札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)、国立西洋美術館、北海道新聞社 後援: 札幌市、札幌市教育委員会

お問い合わせ先 札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)

TEL 011-591-0090 FAX 011-591-0099

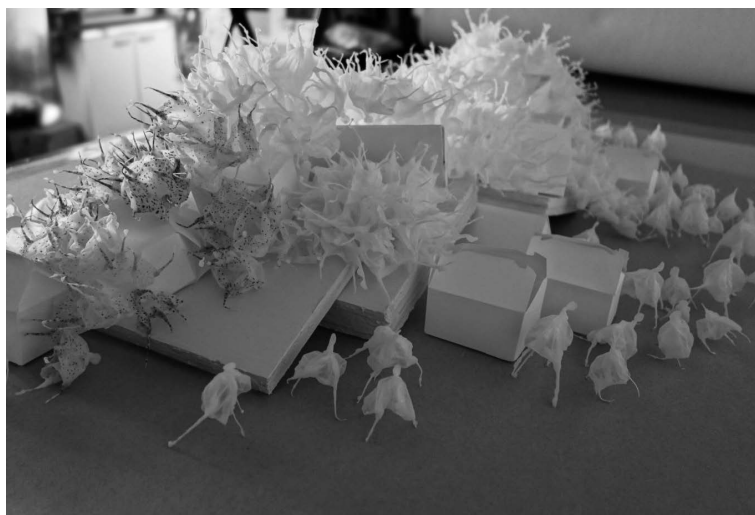
所蔵品企画展

艾沢詳子

Happy Re-birthday to Fukushima + Sapporo 2024

2024年9月7日(土) - 9月29日(日)

札幌芸術の森美術館 B展示室



制作マケット (模型)、作家提供

札幌を拠点に活動する版画家・艾沢詳子(1949-)は、2006年から本格的に紙とロウを用いた人型のオブジェを無数に配置するインスタレーションに取り組んでいます。彫刻家・本郷新(1905-1980)による戦火に苛まれる市民を象徴する作品群「無辜の民」へのオマージュとして、ティッシュペーパーを縫ってロウで固めた人型の作品を制作して以降、艾沢は動乱に翻弄される人々へ寄り添う思いを人型のオブジェに託してきました。

本展では、2023年度に新たに当館に収蔵された艾沢による作品群のうち、インスタレーション作品《Happy Re-Birthday to Fukushima + Sapporo》を再構成し、ご紹介します。

2011年の東日本大震災とそれに起因する福島第一原子力発電所事故により、親しんだ場所を離れ他所へと移り住まなければならなかった避難者をテーマとした本作は、新たな要素を加えた2024年版として展開されます。天災や動乱により分断される共同体や土地の断片をたぐり寄せるように一体一人型を紡ぐ作家の営為を通じて、忘れてはならない記憶を振り返るとともに、抗いがたい力によって翻弄される人間という存在へ思いを寄せる契機となれば幸いです。

艾沢詳子 (1949 ~)

YOMOGIZAWA Shoko

北海道夕張郡由仁町生まれ、札幌市在住。1970年代より版画家として活動を始める。これまで「版の沸騰」(INAX ギャラリー、1997年)、「交差する視点とかたち vol.5」(札幌芸術の森美術館、北海道立釧路芸術館、2012年)などの個展・グループ展をはじめ、国際展にも積極的に参加している。1995年、アジア・カルチュラル・カウンシルの奨学金により、ニューヨークで研修。2014年、北海道文化奨励賞受賞。2023年、個展「艾沢詳子 gathering 一集積する時間」(札幌芸術の森美術館)開催。同年、札幌芸術賞受賞。



撮影：クスメエリカ

時間：午前9時45分 - 午後5時 (入館は閉館の30分前まで) 会期中無休

観覧料：無料 (同時開催の特別展「西洋の写本」の鑑賞券無しでも入場可)

主催：札幌芸術の森美術館 (札幌市芸術文化財団)

お問い合わせ先 札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)

TEL 011-591-0090 FAX 011-591-0099